

長久手市タウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和7年8月2日(土) 午後2時～
- 2 開催場所 西小校区共生ステーション
- 3 参加者 9名
- 4 内容 市長あいさつ(市政報告)、市民の皆さんと市長のフリートーク
- 5 主な意見(要点筆記)

(余剰金の活用)

- Q. 毎年、多額の執行残があり、翌年度、基金へ積み立てています。現年度に執行残を発生させず、補正予算を組み、その予算で市民の求める事業を行ってはどうでしょうか。無理に基金に積み立てることはないのではないのでしょうか。
- A. 財政調整基金が不足しており、基金を積み立てないと、次年度の予算が組めない状況にあります。なお、原則として、実質収支の2分の1以上を財政調整基金に積み立てることが義務付けられています。

(商業誘致)

- Q. 瀬戸市、東郷町、藤が丘にホテルが建設されましたが、長久手市は通過するだけの市になっているのではないのでしょうか。ホテルや企業誘致、ビアガーデン、花火、イベントやスポーツ施設の誘致などができれば、増収になるのではないのでしょうか。
- A. ご提案のような明るい施策で税収が増えることが理想だと思います。ホテル建設等は、観光の計画策定の中で検討しています。農地は多くありますが、農業振興地域は、農業の振興を図るために指定されており、除外することは容易ではありません。すぐにホテル誘致をすることはできませんが検討していきます。ビアガーデン等を民間と連携しながら、実施できるとよいと考えます。

(長久手市美しいまちづくり条例の見直し)

- Q. 今、西小校区内で高層住宅の建設が計画されています。住民が反対していますが、長久手市美しいまちづくり条例に違反していないから問題ないというものです。景観条例という法律は、景観計画を立て、景観条例を制定すれば高さ制限ができるという法律です。景観計画は策定されており、それを引き受けた形で長久手市美しいまちづくり条例が制定されましたが、長久手市美しいまちづくり条例には、高さ制限がありません。条例策定において、市、議員、市民がともに考えるプロセスが重要で、三者が話し合っって良いまちをつくっていかねばならないと思います。
- A. 西小校区内における2件のマンションの計画について、地域の方から反対の声をいただいているのは承知しています。この地域は中高層住居専用地域であり、国の建築基準法に則り、業者

はマンション建設を進めています。住民の方の反対の気持ちは理解していますが、市としては、法律を遵守し建設している業者に対し、建設を中止させることは難しい状況です。下山地区、南部地区、公園西駅地区では、地区計画で高さ制限を設けています。名古屋市では、駅から離れるにつれ低くなるよう高さ制限を設けていることを承知しています。高さ制限を設ける、設けないも含め、今後、考えていきます。地域住民にとって高層マンション建設は反対であっても、土地所有者にとっては高層マンション建設の可否により土地の価値は変わります。市民の皆さまのご理解、市全域としてのメリットを考え、他市町の事例も踏まえ、研究・検討していきます。

(スマイルポイント事業廃止の見直し)

Q 事業総点検の中間報告の中で、スマイルポイント事業の廃止がありました。スマイルポイント事業は、対象活動を行った人に対してポイントが付与され、貯まったポイントは、1年間で商品券等と交換できる事業です。ボランティア活動にやりがいを感じている人やスマイルポイントを励みにしている人もいます。ぜひ、スマイルポイント事業の継続、または、それに代わる事業の検討をお願いします。

A. 今回の事業総点検は、338の自治事務についてプロジェクトチームを組んで総点検をしています。スマイルポイント事業は、市民活動のきっかけづくりとして導入しましたが、現在では、多くの方が市民活動に取り組んでいただけるようになり、本来の目的は果たしたと判断しました。個人的には継続したい事業がたくさんありますが、一定の基準を設けて判別しています。スマイルポイントに代わる案等のご意見については、庁内で共有します。

(魅力あるまちづくり)

Q. 市は財政難で、庁舎の建替も中断されているというお話がありました。長久手の市役所は一番最初に建替すべきですし、かけるべき所にお金をかけて、魅力あるまちをつかってほしいと思います。

A. 庁舎については、財政的に厳しい状況にあり、庁舎を建替ようとしても、必要な面積の半分程度の建物しか建てられない状況で足踏みしています。財政難で事業の廃止や計画の中断、先送り等があり、申し訳ないと思います。様々な問題が山積みですが、今置かれている状況でベストな選択をしていけるように努力していきます。

(サイクリングを活用した環境美化、健康増進、交通安全活動)

Q. サイクリングで市民の体力増進とコミュニケーションを図り、長久手市を盛り上げようと取り組んでいます。協力店を募り、自転車で市内を回り、ゴミ拾いや交通安全、お子様から高齢者までお金のかからない健康増進等、何ができるか模索しながら活動をしています。ご理解をよろしくをお願いします。

A. 長久手市は自転車が走るには、整備されていない部分もありますが、今後、古戦場記念館が整備され、オープンしますので、色金山、御旗山等様々な史跡を自転車でめぐる周遊ルートをつく

っていきたいと思います。多額の費用はかけられませんが、市民、市外から来る人も面白いと思
うまちにしていきたいと思います。